

日本語のハンディキャップ

2680 地区 PDG 田中毅

私は過去 10 回の国際研究会と国際大会に参加しました、さら、2 回の規定審議会、3 回の地域大会、その他数多くの国際会議に参加しました。これらの会議では英語によるスピーチを行いました、もちろん、事前に念入りに原稿を書いたの上です。

規定審議会には通訳がつきますが、公式な発言のみしか利用できない上、事前に原文を渡しておかないと、とんでもない誤訳をされる場合もあります。2001 年の規定審議会では、スペイン語の通訳が PETS (President Elect Training Seminar) を愛玩動物と訳して、会場が騒然となりました。

往々にして公式な会議が済んだ後に本音が語られる場合も多いので、通訳なしに自由に英会話ができないことが、致命的な欠陥になります。

フィリピンでは識字率向上、深井戸掘り、センター建設、飢餓対策、白内障手術などの数多くのプロジェクトをしましたが、その度に行なわなければならない英語の説明とスピーチが大きな負担になりました。

長女はシアトルに、次女もニューヨークに住んでいるので、数えきれないほどアメリカ詣でをしたにも関わらず、一向に英会話力は向上しません。日常会話や買い物には支障はありませんが、ロータリーや政治・経済の話になるとまともな会話が成立せず、沈黙を続けざるを得ません。

帰りの飛行機の中で、次の渡米の時までには、もっと英語が上手になるように努力しようと誓うのですが、日本に着いたとたんにその決心は忘れ去られて、それが果たされた試しはありません。

中学、高校、医学進学過程、学部と 10 年間も英語を習った（私の年代の医学部はドイツ語が主流）にもかかわらず、込み入った英会話や英語による文章作成は全くお手上げです。ヒアリングが全く不得手で、相手の言っていることが理解できないことも多々あります。

私個人の特徴として、英単語のボキャブラリーはかなり豊富だし、文法もそこそこ得意なので、英文の邦訳は全く苦になりませし、数多く知っている英単語を、もっとも適切な日本語に訳して、美しい修飾語で包みながら、文法的に正しい文脈で綴れば、かなり上手な翻訳をすることができます。

小学校の 6 年生までに、世界文学全集と日本文学全集を読破して、日本語は大得意ですから、直訳した英文を美しい日本語に置き換える作業には何の困難も苦痛も感じません。

戦前、戦中の教育では、日本語こそが世界の中心となる言語なので、敵性語を覚える必要はないと教えられました。戦後に Jack & Betty による英語教育を受けました。当時は単語と文法を覚えることが英語教育全てでしたから、常に分厚い単語帳を持ち歩いていました。その結果、◎数多くの単語を知っている ◎邦訳はできるが英作文はできない。◎英会話が全く駄目。日本に於ける典型的な英語教育の落とし子になりました。

社会人になってから、色々な手段を講じて、英語を学習する努力をしましたが、成功しませんでした。

ロータリーに入って、ガバナーになって、何回かの国際会議に出て、初めて、英語の必要性をしみじみと感じ、英語を勉強しようという気になりました。

ロータリーの理念に関する考え方を英語で語りたい、各種の国際会議で英語によるデバートをしたい、シェルドンの経営学に基づく奉仕理念を英語で語りたいという、ロータリーおける私の夢は、未だに果たされずにいますが、この年になってからでは、もはや物理的に不可能でしょう。

大部分の中国人や韓国人が喋る日本語には独特のなまりとアクセントがあって、お世辞にも上手と言えせん。しかしその一方で、英語は極めて上手に喋ります。韓国語や中国語には、促音、撥音等、英語と極めて似た発音体系があります。これに反して、日本語の発音体系や文法が他国語と大きく違うため、一番難しい言語だと言われています。これは日本人が外国語を習う時にも大きな足かせとなって、流暢な外国語を話す日本人が少ないという結果に繋がります。

日本語は表意文字ですから、文字を見れば意味が理解できます。さらに同じ言葉でも様々な言い方があります。これらが複雑に組み合わせられた極めて高度の言語が日本語です。

これに比べれば、英語はアクセントを除けば、文字数も単語数も極めて少ない単純な言語です。単純であることが、世界共通言語になった所以かも知れません。

何れにせよ、英語が世界共通言語であることには変わりはありません。世界共通語である英語を流暢に話せないことは、大きなハンディキャップになりますから、なんとかこれを解消する努力をしなければなりません。

世界一複雑な言語である日本語を理解できる日本人に、単純な言語である英語が理解できないわけはありません。問題は、幼児期に於ける英語教育の欠如です。われわれの世代は無理としても、幼児期からバイリンガルで英語を教えることなどの方法で、日常生活の中で英語を定着させる必要があります。

幼いころから、英語とITに親しむこと。これが将来の日本人に課せられた大きな課題かも知れません。